

行政と歯科とを「繋ぐ」コミュニケーション～行政歯科職と臨床歯科職との連携～
埼玉県本庄保健所長 遠藤 浩正 先生

2023年7月23日(日)10:00-12:30 オンライン
主催:日本災害時公衆衛生歯科研究会

事後アンケートに寄せられたコメント

歯科医師(歯科医師会)

大黒 英貴 歯科医師 岩手県歯科医師会

遠藤先生、ご講演ありがとうございました。専門職でない行政職にもうもっと優しく接して行こうと思いました。今後のご活躍をお祈りします。

諏訪 裕之 歯科医師 埼玉県歯科医師会

歯科医師会に所属している者にとって行政の方と、どのように接していくことが良いのか理解が深まりました。

濱崎 慎 歯科医師 鹿児島県歯科医師会

本県行政にも歯科医師が配置され、歯科医師会と行政の窓口になることを期待しています。また、行政歯科医師の業務が具体的にわかり、有意義な研修会でした。

武田 宇央 歯科医師 神奈川県歯科医師会

当方は県歯科医師会および地域歯科医師会ともに災害関係の役職についているが、行政職員として県でやり取りをしていた方が管轄保健所に赴任されたため、県及び地域での顔が見える関係やそれぞれの立場での役割をある程度理解していたが、今回の講演で平時でのコミュニケーションが発災時の混乱下には有用であることを再認識する事が出来たと共に保健所での今まで知らなかった業務など更なる理解が深まり大変勉強になりました。

瀬尾 達志 歯科医師 瀬尾歯科医院

行政職(歯科)が歯科診療所に求めている事の多様化とそのために努力されている事例が大変参考になりました。

我々歯科医師サイドが改めて行政歯科へ目を向け、県民・市民の利益のために従事する気持ちが大切であると認識しました。

各県レベルでも今回のような講演は大変重要(必要)とも感じました。

中村 美喜子 歯科医師 福井県歯科医師会

遠藤先生、貴重なご講演をありがとうございました。県歯科医師会で仕事をしておりまして、どうしても行政の方との連携が必要になってきます。年に一度地域歯科医療問題懇談会が開催され、県職員の方々と県歯科医師会理事が対面で歯科事業について話合う機会がありますが、当方から各事業の推進等をお願いしても何年経ってもなかなか物事がすすんでいかない事もあります。今後、遠藤先生がご講演の中で言われていた、「行政を動かすためにはエビデンスが必要」「具体的な、また、見える化したアクションプランを立てる」「人脈を活かす、直接のコミュニケーションをとること」を念頭にアプローチをしてみようと思いました。

太田 秀人 歯科医師 福岡県歯科医師会

今日は素晴らしいご講演を拝聴出来ました。遠藤先生と同じ歯科医師かつ保健所長であった井下先生(熊本地震の南阿蘇地区で同時期に活動させて頂きました)の思いを、いまやっとお伺い出来たような気がします。ありがとうございました。

是澤 政勝 歯科医師 睦美歯科医院

保健所の仕事、地域保健活動における保健所との連携の重要性が理解でき楽しかったと同時に、これからの活動に役立たせていただきます

匿名 歯科医師 歯科医師会

顔の見える関係、話ができる関係は知っていましたが、互いの立場を考えるという視点に気づきがありました。

匿名 歯科医師 都道府県

様々な経験談を丁寧にお話くださり勉強になりました。

匿名 歯科医師 都道府県

行政の歯科職が取組を進めていくために、地域の歯科医師、特に歯科医師会、歯科衛生士会等と共同していくことの大切さを再認識いたしました。

小さなコミュニケーションを大切に、信頼関係を築いていこうと思いました。

歯科医師(行政)

栃内 圭子 歯科医師 岩手県健康国保課

遠藤先生は、私が行政の道に入った頃からたくさんのことをご教示いただいております。今回のご講演も共感するところがたくさんありました。

当県は歯科診療所の歯科衛生士の人材が不足しているようですので、行政の歯科専門職を確保するという事は夢のまた夢と考えています(もちろん、人事に掛け合うことはしますが)。となると、行政職を巻き込む、究極は歯科の言葉を話せる行政職を作ることのほうが近道だと考えているため、行政職と仲良くすることは大事だというお話は大変共感しました。

善徳 勇貴 歯科医師 帯広保健所

歯科医師であり、保健所長である先生の経験的見地から学術的な内容まで、都道府県型保健所の仕事のあり様や課題について知ることができた。地域ごとに課題は違えど、ベースとなる会議体や政策、顔の見える関係づくりなど、専門職としての在り方について大変参考になる内容だった。

嘉手納 一彦 歯科医師 那覇市保健所

勉強になりました。

永田 光映 歯科医師 名古屋市港保健センター

遠藤先生のご経験やエピソードをもとに様々なお話を聞くことができ非常に勉強になりました。ありがとうございました。

匿名 歯科医師 市町村

遠藤先生貴重なご講演ありがとうございました。

匿名 歯科医師 市町村

急用があり、ZOOMに出たり入ったりの状況下で聴講となりました。

後日の配信を心待ちにしております。

歯科医師(大学)

久保田 潤平 歯科医師 九州歯科大学

保健所の活動等について具体的な内容等をご紹介いただき、国の保健というものを支えておられるということを実感することができました。やはり、違う職種でそれぞれの業務や思いなどを共有することが大切であることを再認識させていただきました。顔が見えるコミュニケーションというのはやはり大事ですね。

匿名 歯科医師 大学

行政で働く方が患者様と医療機関を繋いで頂いていることを改めて認識できました。災害時対応も同様に、支援チームや支援者の準備が出来上がっていても、支援者に届けるシステムが確立出来ない適切な支援につながらないことに繋がる部分と思われました。

本研究会においても後方支援や運営に関わる皆様、システム作りでご尽力されている先生方のお力と有難さを感じた次第でした。ありがとうございました。

匿名 歯科医師 大学

臨床の歯科医師では知らない保健所業務の大変さ、そして、遠藤先生の市民や動物に対する真摯な姿勢に感銘を受けました。

歯科衛生士(歯科衛生士会)

匿名 歯科衛生士 歯科衛生士会

公衆衛生と臨床の連携がテーマになる時点で、やはり「両者は意識して相手を知ろうとしないといけないこと」との再認識を深めるとともに、これが災害時公衆衛生歯科研究会の企画であることに「災害」はその必要の「最たる場面」となることをあらためて考える機会となりました。以前、矢澤先生の9か条も目にしていましたが、社会環境としての関わり側に自身の立場が変わった今、災害に当てはめるとこの引用はとでもわかりやすく、遠藤先生のご講演内容はもちろん今回の研修企画への参加は有意義な時間となりました。

匿名 歯科衛生士 歯科衛生士会

行政歯科の先生のお話を伺える機会がなく、大変勉強になりました。ありがとうございました。フリーランス歯科衛生士として、地域歯科保健にも関わっています。ある町では、今回の事例と同じ状況が何年も続いています。町として乗り合いタクシーの話は出てはおりました。住民(有償)ボランティアによる歯科送迎サービスについて、お尋ねしてみようと思います。

平時から連携、コミュニケーションの大切さは感じているものの、とれているかと言えば？です。多職種の方々との仕事も多いので、私ができる事からやっていきたいと思います。

ありがとうございました。

匿名 歯科衛生士 歯科衛生士会

行政と関係団体との関係を築いていく大切さが1番心に残りました。表面の顔は見えているけど、良好な信頼関係を築けるかが今後の課題です。

歯科衛生士(行政)

小栗 智江子 歯科衛生士 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課

遠藤先生の「公衆衛生マインド」が干からびつつある心にしみました。本県の行政歯科職は世代交代真っただ中ですが、公衆衛生マインドや連携の楽しさをZ世代と呼ばれる後輩たちに継承していけるよう努めたいと思います。

匿名 歯科衛生士 都道府県

行政2年目です。

それまでは現場での仕事でしたので、勉強のために参加しました。

そんなことあるなあとか、なるほどと思うことや新たに知ることなど参加してよかったと思いました。これからの業務にいかせるようにしたいと思います。本日はありがとうございました。

匿名 歯科衛生士 都道府県

同じ行政歯科職として、また、様々な歯科以外の業務に対応してきた者として、共感できること、参考となることが多くありました。貴重なご講演をありがとうございました。

匿名 歯科衛生士 都道府県

保健所に勤めておりますが、埼玉県の犬猫の殺処分のお話を伺い、8020もですが行政が取り組むことですごく良い結果が出る場合とそうでない場合の違い等、目標達成のために何が重要なのかもと考えていきたいと思いました。

連携とよく言いますが、連携の具体化(見える化)が重要であり、そのためにはコミュニケーションを大切に繋ぎあっていかなければいけないと学ぶことができましたので、今後活かしていきたいです。

匿名 歯科衛生士 都道府県

遠藤先生の素晴らしいご講演ありがとうございました。後半は内容が盛りだくさんだったので、資料の事前配付があればありがたかったです。

匿名 歯科衛生士 都道府県

遠藤先生のご経験から、連携の大切、難しさが改めて感じられました。お互いを知る、ことが一歩だと改めて思いました。色々な内容を盛り込んでいただき勉強になりました。

中村 恵奈 歯科衛生士 愛知県歯科衛生士会、豊川市保健センター

自分は行政で働いている立場でしたので、遠藤先生のお話全てが心に沁みました。地域の歯科保健を推進するために、日頃「歯科職以外の職員とのコミュニケーション」や「自治体と地域関係

者のコミュニケーション」「地域歯科医療機関⇔地域市民」等が、障害者・高齢者全てのカテゴリで、より良い関係と体制づくりできていれば、災害時というスイッチの時であっても上手く機能でき、自身が重要な立場で職務を担っていること改めて実感しました。また遠藤先生の温かく細やかな配慮や語りから、「公衆衛生」「行政歯科職」における「信念」や「心」を感じ、孤独な職種だからこそ頑張ろうと思えるパワーをいただきました。ありがとうございました。

松本 三善 歯科衛生士 文京区役所

貴重なお話をありがとうございました。行政の立場としてできる臨床歯科職や他職種との連携方法について勉強になりました。

匿名 歯科衛生士 市町村

非常にわかりやすくお話しをいただきありがとうございました。

行政の歯科専門職として長年勤務しておりますが、今回の内容は、共感することばかりで、自身が行っている仕事のやり方の確認をさせていただいたと思っております。

今後も他職種、歯科医師会、歯科衛生士会等と良い連携を持ち、地域の歯科口腔保健の推進に取り組んでいきたいと思っております。

匿名 歯科衛生士 市町村

遠藤先生、ありがとうございました。実際に経験されたことと感じられたことを、ありのまま語っていただいている感じがして、スッと入ってきました。地域住民の声に耳を傾けるということは行政で従事する者として最重要ですが、聞いて、どうするかの部分で、必ず臨床との連携が必要になるため、信頼できるネットワークを作っておくことの大切さを学びました。私はまだまだ知識も人脈も乏しいですが、今ある環境を最大限に活用させていただいて、歯科事業を発展させていきたいと思っております。

匿名 歯科衛生士 市町村

行政職員として他職種や歯科医師会との連携のあり方や重要性について学びを深めることができました。

また、行政内部においても歯科の重要性を他職種に理解してもらうことが困難な状況は他都市も同じなのだとわかり、同じ目標に向かってがんばる諸先輩方がいる安心感も感じることができました。

今日の学びを頭の片隅に置いて、今後の地域活動に活かしていきたいと思っております！

匿名 歯科衛生士 市町村

地域の歯科医師、行政事務職とのつながりの大切さを実感しました。歯科医師の先生と話していると、行政歯科衛生士の仕事って何をしているの？とよく聞かれます。公衆衛生のことを歯科医師の先生とお話しする機会が少ないのと、歯科医師会の役員の先生しか具体的な話ができないの

が現状です。

遠藤先生の講義を受け、公衆衛生が上手く進んでいけるように、まずは話をして知ってもらい、知り合いになるところから始めたいと思いました。

入庁して 4 年目ですが、今回のような研修がとても勉強になり、行政歯科衛生士の役割を再確認できる機会になっています。また行歯会でご案内いただけるとありがたいと思います。大変ありがとうございました。

匿名 歯科衛生士 市町村

大変勉強になりました。ありがとうございました。

匿名 歯科衛生士 市町村

・ コミュニケーションが大切ということは分かっていますが、特に相手に NO を伝えることは難しく、いつも悩んでしまいます。特に現在所属している部署では、上手く使われ過ぎないようにと思いつきかもしれないと思いつつ、線引きも大事に思うため、悩ましいところです。

・ 歯科職以外の職種に「歯科も大切」と思ってもらうことの大切さは、日々感じています。住民さんに発信するのと同じように、他職種にも大切さを伝えなければと思いますが、なかなか難しいです。熱く語るより、何かのついでにサラリと伝えていくことにしています。

匿名 歯科衛生士 市町村

ご講演ありがとうございました。

私も行政に勤務しておりますので、歯科職は少人数なので他の業務もこなしながら、人との繋がりを作っていくということがよくわかります。庁舎内で、何かお願いしたい時も、逆もその人の印象がわかると話が早いです。

地域活動も同じかなと感じます。

色々な情報、とても勉強になりました。

今後是非参加したいと思います。”

匿名 歯科衛生士 市町村

研修会ありがとうございました。返事が遅くなり申し訳ありません。楽しみにしていた研修会ですが、体調不良で視聴できませんでした。私は、行政勤務の歯科衛生士です。いただいた資料を参考にさせていただきます。ありがとうございました。

まとめ： 中久木康一

(2023 年 8 月 1 日)